

平成 28 年（2016 年）熊本地震による土砂災害に対する現地踏査  
（速報 1：2016. 4. 28 暫定版）  
（斜面災害研究センター・釜井俊孝・王功輝・土井一生）

概略：

2016/4/14 21:26 に熊本地方を震源とする地震（ $M_j6.5$ ）（前震）の後に、2016/4/16 01:25 に発生した地震（ $M_j7.3$ ）（本震）により、熊本県南阿蘇村などで数多くの斜面崩壊や地すべりなどが発生し、地震による被害がさらに拡大した。斜面災害研究センターの職員が 4 月 20-22 日の間に、南阿蘇村や熊本市内および益城町における土砂災害に対する踏査を行った。具体的な行程、調査内容は下記の通りである。

- 4/20: 博多駅からレンタカーで南阿蘇村に入って、周囲の斜面において発生した土砂災害の様子を確認した。また、余震観測のため、火山研究センター近傍に地震計を設置した。玉名市に宿泊（図-1）
- 4/21: 大雨のため、熊本市および益城町の住宅被害や斜面変動現象を調査した。玉名市に宿泊（図-2）
- 4/22: 南阿蘇村における大規模地すべりや宅地の被害を踏査しました（図-3）

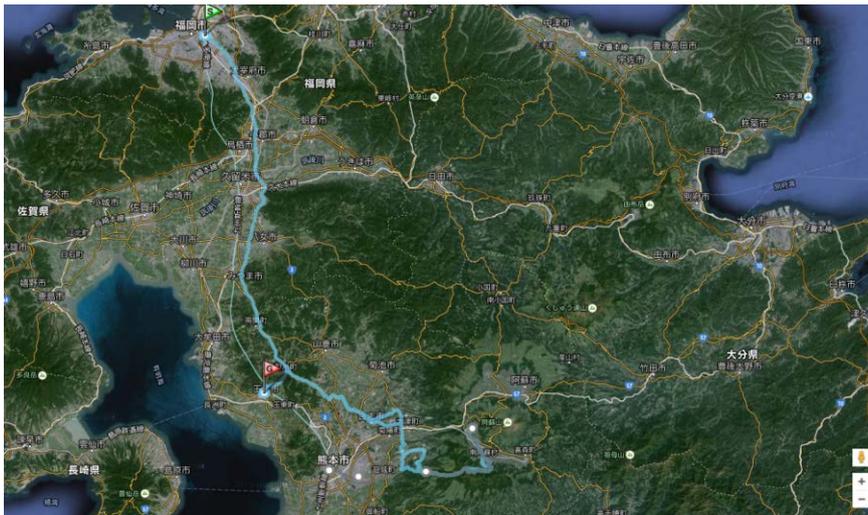


図-1：博多から南阿蘇村へのルート（4/20）

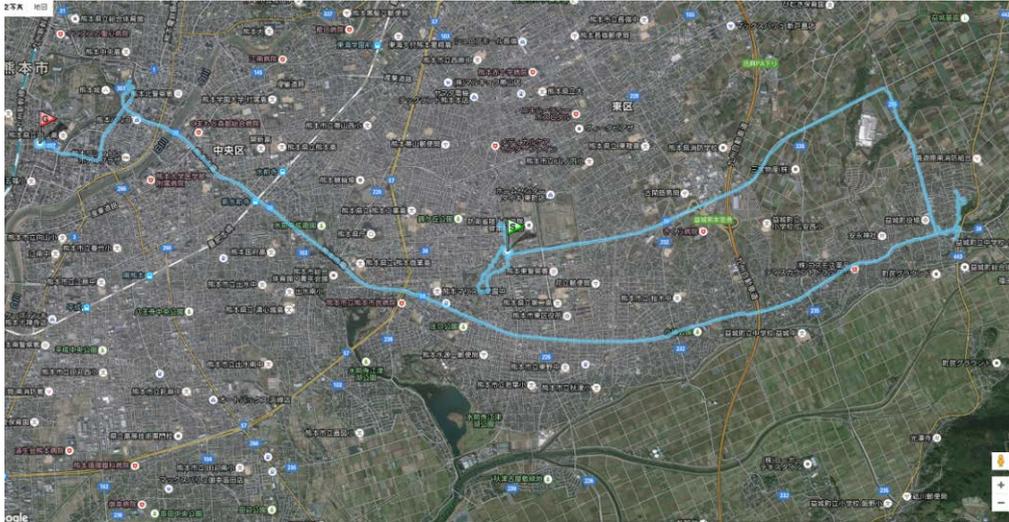


図-2：熊本市および益城町での調査ルート（4/21）

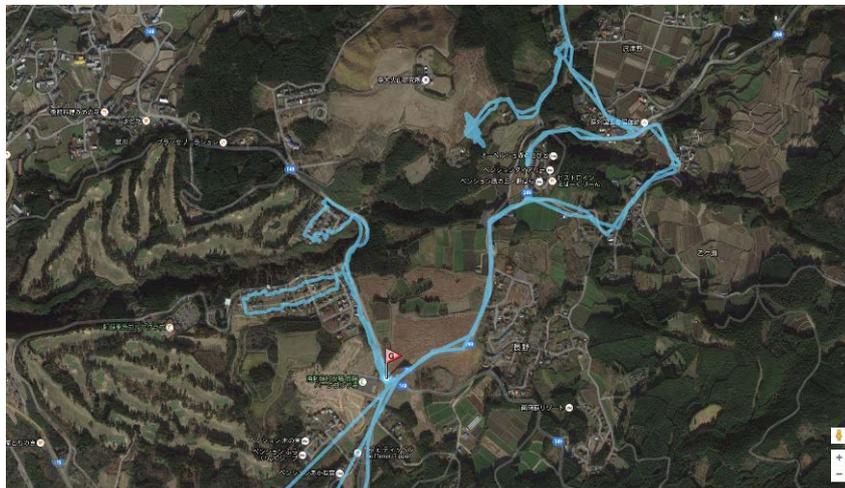


図-3：南阿蘇村での調査ルート（4/22）